

Young Professionals Open Forum 若手技術者による公開討論会

日本工営株式会社 都市・物流部 技師
技術研修委員会 YP 分科会 北野知行

日時：2010年9月20日 16:00～17:30

場所：Plenary Hall, Ground Floor, Vigyan Bhawan

議長・発表者：Nader Shokoufi (Iran), Prashant Kapila (India),
Michele Kruger (South Africa), Richard Stump (USA),
Mandana Cont (Iran), 北野知行 (日本), Atasi Das
(India)

参加者数：約 100 名



1. プログラムの概要

企業形態、先進国と発展途上国、アジア諸国と米国・欧州諸国にて異なる後継者育成の実情を、5名のスピーカーによるプレゼンテーションと公開討論会にてシニアへのメッセージとして紹介。若手技術者が考える後継者育成・企業への従属意識の動機付け模索状況等、多岐に亘る各概要は以下の通り。

(1) Succession Planning, An introduction (発表者：Ms. Michele Kruger)

後継者育成の重要性と期待する効果、および必要とされる育成システム（熟練社員の確保、若手技術者の会議への参加、人脈形成の機会創出、企業戦略会議への参画等）の提案紹介。

(2) Young Professional Forum, Case Study: Succession Planning (発表者：Mr. Richard Stump)

Stanley Consultants における後継者育成事例の紹介。指導者権限の移管、技術者への責任の付与、社内外での教育制度の適用、外部会議への参加、社会活動への関与が主たる内容。また、将来展望、人脈形成、現在の業務への邁進などの自らの努力の必要性についても併せて紹介。

(3) Succession Planning Case Study in Iran (発表者：Ms. Mandana Cont)

IRSCE にて実施した調査結果報告として、若手技術者の企業従属意識の主たる動機付けが技術習得機会・責任の付与、給与である点を紹介。家族経営企業における後継者育成方策の紹介。

(4) Succession Planning Case Study in AJCE (発表者：北野知行)

若手技術者が感じる業界の懸念点（事象の複雑化、現場経験機会頻度の低さ、世代間ギャップ）の報告。将来展望、後継者育成の観点で、従来の「先輩の背中を見て学ぶ」方法から、AJCE MA にて実施されている研修プログラム・技術コーチング制度の紹介を通じて、システム化されたプログラムと進捗モニタリング・継続的なフォローアップの充実が不可欠である点を紹介。

(5) Succession Planning –YP Perspectives (発表者：Ms. Atasi Das)

若手技術者が望む後継者育成システムの紹介。アジア諸国と米国・欧州諸国における昇進手続きの相違紹介とともに企業形態別で望まれる後継者育成方策の提案。

聴衆の若手技術者を対象に、若手技術者の社内での価値、長期所属する動機付け、企業規模別で異なる後継者育成、途上国における後継者育成方法、等についてグループディスカッションを実施。

2. 所感

各発表者ともに後継者育成の必要性和概念的な手段の紹介が行われたが、AJCE 発表内容には複数の具体例を含んでおり、他とは一線を画す内容であった。今後、教育、研修や技術制度を経て洗練・育成された若手技術者の事例紹介ができれば、更なるアピール、業界全体への貢献につながるものとする。